◆夢を育み　明日が待たれる　魅力ある学校づくり◆

北教だより

茨城県県北教育事務所
令和８年 10 月 20 日(火)
第 11 号
電話 0294-34-0774
E-mail:hokukyo@pref.ibaraki.lg.jp

～安心して学べる魅力ある学校・学級づくりのために～

学校教育活動全体の再点検を

９月17日（木）をもちまして、管内全73校の所長人事課長訪問、管理訪問が終了しました。
それぞれの学校で、学力向上に向けた取組や服務規律の確保に向けた取組を確認するとともに、授業参観では、生き生きと学ぶ子供たちと、学びに伴走する先生方の姿を拝見することができました。校長先生をはじめとする先生方、そして、学校を支えていただいている全ての職員、地域、保護者等の皆様方にあらためて感謝申し上げます。

＜コンプライアンス確保に向けた校長研修会＞

学校におけるコンプライアンスと管理職の役割（於：ホリゾンかみね）

・関連する法令の理解と学校の対応の在り方　・トラブル対応時における管理職の役割

講師　茨城県コンプライアンスアドバイザー

９月30日（水）、弁護士の先生を講師にお招きし、コンプライアンス確保に向けた校長研修会を実施しました。
令和８年度　茨城県コンプライアンスアドバイザーの視点から、なぜ、公務員・教職員には高い法令順守が求められるのか、法的な根拠を挙げながらご講話いただきました。
県の不祥事防止重点テーマ「重点対策４つの不祥事類型をゼロに！　～飲酒運転・体罰・盗撮・わいせつ行為の根絶～」についても、体罰と懲戒の区別、スクールセクハラなど服務規律違反が問題となる場面を具体的に挙げて分かりやすくお話しいただきました。





講話の後半には、最近話題の法令紹介として、「こども性暴力防止法」や「いじめ防止対策推進法」、「共同親権」について紹介いただきました。
こども性暴力防止法は今年の12月25日から施行されます。そのため、学校現場では単に、教職員の「性犯罪歴を確認する」だけでなく、学校全体での予防・早期発見・相談・対応の仕組みを作ることが必要になります。
予防のためには、以下の点が重要になります。
・教職員と児童生徒が密室で1対１にならない。
・私的な連絡先の交換を避ける。
・不必要な身体接触をしない。
・児童生徒から相談を受けた場合の報告ルートを明確にしておく。

ゼロの積み重ねが大きなプラスに！

教職員の不祥事は、教育に対する信頼を揺るがす事態に繋がります。
不祥事ゼロの日々を積み重ねることが、児童生徒、保護者、そして、地域からの信頼を得ることになります。学校でのちょっとした違和感に気付くことで、コンプライアンス違反の兆候の芽を摘むことにつながります。今後も不祥事ゼロに向けた取組をお願いいたします。

全国学力・学習状況調査を踏まえた授業改善

R8全国学力・学習状況調査における県北管内で特に課題にとなった設問を以下に示しました。各学校においては、何が課題となっているかを把握し、以下の指導改善のポイントを参考にしながら、学力向上に向けた確実な取組をお願いいたします。〔第2回管内学力向上推進協議会資料より抜粋〕

小学校国語　２三(イ)　学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができる

【問題】なぜ、長そでの服を着ているのかイふしぎに思い、暑い夏を快適に過ごすための衣服のくふうについて調べることにした。　〔正答　不思議〕

【正答率】　県北 32.3%　県(公立)36.3%　国(公立)45.2%

【誤答の分析】

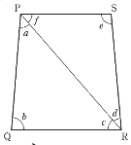
不〇	思〇	議×	24.8%
不〇	思×	議×	12.3%
不×	思×	議×	11.3%
その他			9.8%
無答			9.7%

【指導改善のポイント】知識・技能の定着＝習得＋活用

(1) 新出漢字の確実な習得を目指した指導
　意図をもった反復練習・授業での既習漢字の確認・ミニテスト等
　⇒児童生徒が書けない漢字を発見・自覚し、書けるようにする
(2) 既習の漢字を日常生活で書く（活用する）指導
★漢字のもつ意味を併せた指導
　漢字（文字）の意味　と　言葉（語彙）の意味の関連
「不」・「思」・「議」 ⇔ 「不思議」

中学校数学　３　２直線が平行になるための条件を理解し、二つの角の位置関係を捉えることができる

【問題】
下の図は、四角形ＰＱＲＳに対角線ＰＲをひいたものです。



上の図において、∠ａから∠ｆまでの６つの角のうち、ある２つの角の大きさが等しければ、ＰＳ // ＱＲであるといえます。その２つの角を書きなさい。〔正答　∠ｃと∠ｆ〕

【正答率】　県北 37.4%　県(公立)44.1%　国(公立)49.1%

【誤答の分析】

∠a と∠d を解答しているもの	2.9%
∠b と∠e を解答しているもの	29.5%
上記以外の解答	27.7%
無解答	2.6%

【指導改善のポイント】

〇２直線が平行であるかどうかを判断する活動の場の設定
・２直線に１直線が交わってできる角について、２直線の位置関係を変えたときどのように同位角の大きさが変わるか調べる活動
・同位角が等しいかどうかに着目して２直線の位置関係を調べる活動
◎　平行線の性質等について実感を伴って理解できるようにすることが大切

中学校英語　１１②　関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて正確に書くことができる

【問題】　【正答率】　県北 41.3%　県(公立)48.9%　国(公立)52.7%

留学生のメイ（Mei）に昨日の出来事について質問し、分かったことを下の【表】にまとめました。【表】を見て、例を参考にしながら、①メイが行った場所、②メイがしたことをそれぞれ英文１文で書きなさい。

【表】　例　メイが起きた時刻　７時（seven）
＜解答欄＞ 例　Mei got up at seven.
【表】　②　メイがしたこと　テニス（tennis）
＜解答欄＞ ②

〔正答　Mei played tennis.〕

【誤答の分析】
過去のことについて書くことを理解できていない。（例：Mei plays tennis.）　21.1%

書くべき内容を理解できていない、「主語＋動詞」という文構造が理解できていない。（例：Mei is tennis.）　23.8%

【指導改善のポイント】

・音声で十分慣れ親しんだ過去形を読んだり書いたりする場の設定
・話す活動を生かした書く活動の設定
・動詞の過去形に着目したペアやグループでの確認
・昨日→週末→夏休みなど場面を変えながら、繰り返し活用する機会の設定